

【1 分解説】ランドパワー・シーパワーとは？

取締役 総合調査部長 石附 賢実

「ランドパワー」と「シーパワー」は、それぞれ陸上と海上で国家が発揮する影響力を示す概念です。ランドパワーは陸上の支配力に関連し、英国の地理学者・政治家マッキンダーが20世紀初頭に提唱したハートランド理論のなかで、ユーラシア大陸中央部を支配することの重要性が強調されています。一方で、19世紀末のアメリカの軍人・地政学者マハンによるシーパワー理論では、海上の支配を通じて大国の地位を確立することに焦点を当てています。

ハートランド理論に対する補完的視点として、アメリカの地政学者スパイクマンによってリムランド理論が提唱されました。シーパワーの代表格であるアメリカの視点から、ハートランドを取り巻くリムランド、すなわち周縁部の戦略的価値の高さが強調されました。

アメリカやイギリスはシーパワーを代表してきた国家で、世界の海洋を支配し国際的な影響力を発揮してきました。これに対して、ロシアや中国は伝統的にランドパワーに重点を置き、広大な陸地を利用して地政学的な優位を追求してきましたが、最近では中国も海軍力の増強により、シーパワーの強化に努めています。

これらの概念は、現代の地政学や国際安全保障の分析においても依然として重要な示唆を提供しています。

関連レポート

- ・「【1 分解説】ハートランド・リムランドとは」(2024年3月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/324942.html>

- ・「世界のパワー・バランスは西側優勢？～時間は中国に不利に働く、西側は繁栄・協調・高潔性を示し続けられるか～」(2023年7月)

(<https://www.dlri.co.jp/report/ld/265593.html>)